

ジェローム・ラバット (Jerome Labat)

マイクロフォーカス 最高技術責任者 (CTO)



エンタープライズ向けソフトウェアを専門とするマイクロフォーカスの最高技術責任者 (CTO)。マイクロフォーカスはエンタープライズ向け DevOps、ハイブリッド IT 管理、セキュリティ、リスク&ガバナンス、予測分析まで、幅広い分野をカバーする広範なソリューションを提供し、それらを通じて顧客企業の事業運営や変革を支援し、リスクを低減し、実行可能な洞察を提供しながらデジタルトランスフォーメーションやイノベーションの加速している。

ラバットは CTO としてマイクロフォーカスの技術分野における目標を設定するとともに、DevOps 変革のためのエンタープライズ向けソフトウェア、クラウドファースト戦略、エンタープライズセキュリティ、機械学習&人工知能 (AI) ソリューションにいたるまで、ポートフォリオ全体を通じて一貫性のある製品およびソリューション開発を推進している。

さらに、CTO としてさまざまな分野でマイクロフォーカスの重要な戦略的イニシアチブに取り組んでいる。

- 製品ポートフォリオにおけるテクノロジーおよびソリューション戦略の立案及び実行に対するアカウントビリティを負う。このミッションを果たすために、世界各国でさまざまな業界の主要顧客企業に対してエグゼクティブスポンサーを務めるとともに、有力グローバルサービスプロバイダーやクラウドプロバイダーを支援し、顧客重視のイノベーションの実現を指揮している。
- 大規模アジャイル開発手法やモダンエンジニアリングテクノロジーと併せて自社のテクノロジーやソリューションを導入して自社のデジタルトランスフォーメーションを推進し、従来、数年単位だった製品のリリースサイクルを数カ月単位に短縮。マイクロフォーカス製品のデジタル化ビジョンを実現するための鍵を握るテクノロジーがコンテナ化である。
- マイクロフォーカスの SaaS およびエンジニアリングサービスを提供するプロダクト IT チームの責任者も務め、プロジェクト志向の IT 組織からモダン "サービス" のデリバリーチームへと根本的な転換を推進。

マイクロフォーカス入社前は、HPE Software 社の CTO として同社のクラウドオートメーション事業を率い、ソフトウェアポートフォリオのモダナイゼーション、Go-To-Market 戦略、HP のソフトウェアエンジニアリングの大規模アジャイル変革を支えるグローバルソフトウェアファクトリーの導入等を担当。さらにそれ以前には、Oracle に在籍し、複数の管理職や技術職で実績を積んでいる。

フランスの ISG 経営大学院で国際経営学の MBA を、パリ第 10 ナンテール大学で経済学の DEUG を取得。現在は米国カリフォルニア州サンフランシスコのベイエリアにあるサンタクララに拠点を置いている。

以上

(2019 年 9 月現在)